

事業所名		まっぴ2nd（放課後等デイサービス）				支援プログラム		作成日		令和7	年	3	月	1	日
法人（事業所）理念		生活のデザイン作り：一人ひとりのお子さんの特性や考え方、気づき方や学び方、成長発達の段階にはちがいがあります。その一人ひとりに合わせた、その時のお子さんや家族にあったオーダーメイドの指導・支援を行うことによって成長につながるような、自立につながるような計画と一緒にデザインし、取り組んでいきたいと考えております。													
支援方針		・本人の状態、保護者からの聞き取りの情報と学齢前期・学齢後期・移行期の年代も含めて個別支援計画を作成し、個別支援計画に沿って指導・支援の提供を行う。 ・本人の発達障がいの特性に合わせた支援や本人の相談に乗りながら、自己認知を高め、自分にあった工夫や調整を身に着けることができるよう指導・支援を行う。 ・信頼できる大人に必要に応じて相談するスキルを高め、将来の自己決定する力を高めていく。													
営業時間		9時30分から18時30分まで				送迎実施の有無		ありなし							
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・身辺自立の状況についてアセスメントを行い、本人に合わせた環境の設定や課題を細分化して取り組んでもらうことで、自立度を高めていく。 ・生活習慣や生活リズムの確立のために、どのような要素が必要かを本人のイメージも含めて確認しながら生活の方向性について整理統合し、意識を高めていく。 ・健康状態の維持・改善のために、食事・運動・睡眠・余暇の状況などを丁寧にアセスメントを行い、必要な指導・支援を検討していく。													
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の基本的技能が向上するよう、本人の運動機能の発達状況をアセスメントを行い、家庭や学校、事業所で取り組むことが出来る運動提案をプログラムしていく。 ・感覚の特異性への対応として、感覚プロフィールを行い、特異性の状況について、家庭、学校、事業所で共有し、指導・支援や環境的な配慮について確認していく。 ・自分でできる感覚面へのケアや運動と感覚面のつながりについて整理し、自分での防衛力を高めてく。													
	認知・行動	・本人の認知特性や現段階での気づきに合わせた支援を行い、行動マネジメントや自己認知を高めるよう指導・支援を行う。 ・期待されている行動や社会生活上のルールやマナーについても、本人が理解できるように伝え、状況に応じた行動の見通しと自己決定を高めていく。 ・本人の行動連鎖を分析し、必要な支援や環境設定を行い、状況にマッチした行動や参加ができるように支援していく。													
	言語コミュニケーション	・安心できる大人に相談し、自分の方向性を自己決定する力が伸ばせるように、相談するスキルを伸ばしていく。 ・本人の受容コミュニケーションの認知状況やスキルに合わせて、言語指示だけでなく視覚的な情報も活用しながら周囲の情報への気づきを高めていく。 ・本人にあった表出コミュニケーションのシステムやカリキュラムを用いることで、状況にあった言語表出や意思伝達の方法を伸ばしていく。													
	人間関係社会性	・本人が安心できる環境で情緒を安定させながら、自己の気づきや社会的な気づきにつながるような機会設定を行い、他者との関係を伸ばしていく。 ・社会性の発達段階をアセスメントしながら、本人の発達に応じて環境や余暇の設定を行い、本人の気づきを高めていく。 ・不登校や対人的な怖さを抱えている子どもに関しては、丁寧な移行のプロセスを計画し、本人が引っ張られたと思わないように時間をかけながら成功体験を積み上げていく。													
家族支援		・思春期などの時期や他児との関係性など、本人も悩みながら成長する時期でもあります。家族の悩みや困りごとに寄り添いながら、定期的に面談を通して支援し、不安を軽減できるように関わります。				移行支援		・園から就学への移行、中学への移行、高校への移行、高等教育や社会人への移行と移行が継続的に続く時期でもあるため、本人や家族と変わることに変わらぬことを確認したり、トップダウンを意識した目標設定などについても確認を行っていく。							
地域支援・地域連携		・本人の主たる生活の場である学校と継続的に連携を行いながら、協働して子どもを支えていけるような体制作りを行う。また、学校へ行ききづらい子ども他たちが安心できる居場所としても提供できるよう関係する機関との連携を行いながら本人の状況や状態に合わせた支援を取り組む。				職員の質の向上		・法人内での研修と合わせて、外部の研修についても積極的に受講し、座学での研修の機会と合わせて、外部コンサルタントやOJTを活用しながら職員が指導・支援の質を高めることができるよう組織化していく。							
主な行事等		・事業所内での余暇活動をメインに、季節毎に楽しめる余暇の提供を行っていく。また、地域生活を意識して般化につながるような余暇の設定等を行っていく。バーベキュー、釣り、買い物、調理、登山、ボードゲーム、制作活動、バイキング、電車旅行など。 ・学校行事を事前に事業所で学習し、見通しを持って学校行事を楽しめるように事前の予告やお知らせ、ポイントの整理などを行いながら学校行事につなげていく。													